

02

戦略

教育・文化

一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり

基本
計画

- ①社会教育の充実
- ②学校教育の充実
- ③市民芸術・文化の振興と継承
- ④歴史文化遺産の保存と活用
- ⑤スポーツの振興

1

社会教育の充実



施策の方向

生涯にわたって学び続けることができるよう、市民への総合的な学びの場や機会、情報を提供します。

学校・家庭・地域が相互に連携・協力しながら、教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、子どもを育てる環境づくりを推進します。

校区公民館は、施設の長寿命化と将来的な「校区自治」も視野に入れた校区公民館を核とした地域づくりを推進、支援します。

人権教育については、様々な人権問題に関して、市民一人ひとりが人権尊重の理念を正しく理解し、差別のない明るい社会実現のために、様々な機会を通して人権教育を推進します。

図書館は、蔵書の整理・充実、視聴覚コーナーの設置等の機能拡充や県立図書館との連携によるデジタル図書への対応など、市民の豊かな心が育める読書環境づくりを推進します。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
地域学校協働活動（学校支援回数）	539回	○	600回
家庭教育学級 実施回数	15回	△	20回
参加者数	1,001人		2,100人
くまもと「親の学び」プログラム講座 実施回数	156回	◎	140回
参加者数	4,896人		3,200人
コミセン講座年間受講者数	6,920人	◎	5,500人
市民1人当たりの図書館資料年間貸出冊数	3.38冊	◎	3.35冊

主要な事務事業

- | | |
|--------------------|-------------------|
| (1)地域学校協働本部事業 | (2)家庭教育学級事業 |
| (3)中央公民館事業・校区公民館事業 | (4)一井正典「青雲の志」育成事業 |
| (5)社会人権教育事業 | (6)子ども読書活動推進事業 |
| (7)図書館利用促進事業 | (8)図書館蔵書充実事業 |

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(1)社会教育の充実		

事務事業名	地域学校協働本部事業	担当課	社会教育課	
事務事業概要	市内全小中学校を対象に、地域と学校が双方向で連携・協働し、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指し、地域学校協働活動を推進していく事業			
主な取組内容 Plan	既存	学校協働体制の整備・充実	既存	地域学校協働活動への展開
	既存	わくわくサポーターの拡充と活用	既存	学校運営協議会における連携調整

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	198	千円	236	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	8,463	千円	8,860	千円	
事業費	8,661	千円	9,096	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	「学校支援ボランティア」の名称を公募により「わくわくサポーター」へ変更し、学校を支援するだけではない双方向の協働活動のためのボランティアであることが分かりやすくなった。		
	「学校から地域へ」の協働活動について、専用の支援要請カードを作成し、校区公民館に備え付けた。支援員が学校へ出向く取り組みを開始したことで、各行の担当教諭と支援員の間で情報共有が進み、活用の推進につながっている。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	「学校から地域へ」の協働活動について、専用の支援要請カードを作成したものの利用が多くない状況である。地域学校協働本部事業の各校区支部構成団体を中心に支援要請カードの活用を促進する必要がある。わくわくサポーターの構成メンバーが高齢の方が多く、野外活動やIT補助などで活動が難しい場合もあることから、保護者など若い世代の登録を促進する必要がある。		
	「学校から地域へ」の支援要請カードの活用について、支部会議の中で検討する。学校をつうじて、保護者にわくわくサポーターの募集のチラシを配布し新規登録者を増やす。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	184	千円	184	千円	184	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	9,284	千円	9,384	千円	9,384	千円	
事業費	9,468	千円	9,568	千円	9,568	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(1)社会教育の充実		

事務事業名	家庭教育学級事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	市内の小・中学校、保育園、幼稚園、認定こども園の保護者を対象とした家庭教育学級を実施することで、家庭教育力、地域教育力の向上を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	家庭教育学級の実施	既存
			くまもと「親の学び」プログラムの周知

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	174	千円	348	千円	
事業費	174	千円	348	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	復興推進による事業見直しによって、家庭教育学級は令和4年、5年度の2年間事業休止をしていたが、令和6年度から事業を復活することができた。市内全小中学校と7つの幼稚園、こども園等を推進協力校・園として実施をお願いし、16回の家庭教育学級を実施し、のべ1001人の参加があった。		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	実施回数は目標に届いたものの、参加者数は目標値に達していない。令和4年・5年と2年間事業を休止していたことにより、保護者に「講演会・研修会に参加する」という習慣がなくなっており、参加者数の低下が危惧される。また、参加しない人(興味がない人)にこそ、家庭教育の重要性を知ってもらう必要があるため、周知や開催日時などの工夫の他、開催のタイミングなども検討して、より多くの保護者に参加をしてもらう工夫をする必要がある。		
	2回開催するうちの1回を、入学説明会など保護者が集まるタイミングにするなどの提案とともに、比較的容易に依頼ができる講師リストの情報提供を行い、より多くの保護者が参加できる学級の開催を目指す。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	348	千円	348	千円	348	千円	
事業費	348	千円	348	千円	348	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(1)社会教育の充実		

事務事業名	中央公民館事業・校区公民館事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	市民の学びの意欲を支えていくため、地域住民の学習ニーズに応じた学習機会の提供を行うことで、地域に対する愛着や誇りを育み、地域づくり等につなげる事業		
主な取組内容 Plan	既存	校区公民館講座	既存 公民館(コミュニティセンター)管理
	既存	成人式	既存 草木山川学校

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	70,003	千円	48,402	千円	
事業費	70,003	千円	48,402	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	<p>各校区独自の講座に加え、短期講座・自主講座等も実施し、多数の方に受講していただけたが、受講者数は減少傾向であることから、アンケートによるニーズ調査を実施した。</p> <p>コミセン施設管理については、老朽化で使用不能であった大畑コミセンの体育館を解体した。また、コミセンの調理室の中で唯一エアコンがなかった東西コミセンの調理室にエアコンを設置し、安全・安心に利用できるようになった。</p> <p>草木山川学校を市内小学2年生を対象として、夏と春の2回開催した。</p>		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	<p>また、コミセン予約を電子化した。支払いが現金のみとなっているため、今後電子決済を導入したい。</p> <p>コミセンの施設について、トイレの洋式化、照明のLED化をする必要がある。夏期の熱中症対策としてコミセン体育館へのエアコンの導入(東間コミセンにおいては、避難所でもあるため)も検討が必要である。</p> <p>地域学校協働本部事業とも連携するなど、生涯学習講座のニーズが多様化している。また様々な地域の課題を解決するためにも、各校区公民館講座の拡充や、中央公民館講座を実施し、生涯学習によるまちづくりを進める必要がある。</p>		
改善内容 Action	スマホ教室などIT関係講座の実施ができていないため、校区公民館講座の拡充や、中央公民館講座において実施を検討する。 公民館活動と地域学校協働本部事業との連携を行い、異世代交流を促進を目指す。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	126,402	千円	126,402	千円	118,402	千円	
事業費	126,402	千円	126,402	千円	118,402	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(1)社会教育の充実		

事務事業名	一井正典「青雲の志」育成事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	郷土の偉人である一井正典氏の足跡をたどり顕彰する事業で、次世代を担う若者が世界に目を向け、国際交流を通じて様々な学びを深めることで、グローバルな人材を育成する事業		
主な取組内容 Plan	新規	熊本県グローバルジュニアドリーム事業への児童・生徒の派遣	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	600	千円	
事業費	0	千円	600	千円	

評価

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	平成29年度を最後に実施をしていない。(令和元年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。)令和6年度についても、事業を中止している。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	再開の有無や、事業の実施方法について検討をする必要がある。アメリカの物価高騰や、外国人留学生の排斥問題など、現状では安全安心に渡航し滞在するのが難しいと思われる。		
	熊本の「グローバルジュニアドリーム事業」に参画し、人吉市推薦者として小学生1名と中学生1名を同事業に派遣することができた。帰国後の報告会の開催などを実施し、参加者の経験を他の児童生徒に伝え、ともに成長する機会にする。外国人との交流を通じて海外文化を学ぶ機会を設けるために、国際交流協会などと連携した事業を検討する。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

改善

方向性

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	0	千円	0	千円	0	千円	
事業費	0	千円	0	千円	0	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	外国人との交流を通じて、海外文化を学ぶ機会を作ります。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(1)社会教育の充実		

事務事業名	社会人権教育事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	人権に関する研修会の開催や啓発活動、各種学習機会を捉えて家庭や地域における社会人権教育の推進を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市人権教育推進連絡協議会の実施	既存 人吉球磨人権教育研究協議会研究大会 社会人権教育部会の開催
	既存	子ども人権作品展の実施	新規 令和8年度に「熊本県人権教育研究大会」開催準備

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	735	千円	297	千円	
事業費	735	千円	297	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)についての講演を行う「人権研修会」を実施した。例年行っている「子ども人権作品展」を実施し、市内全ての小中学校から人権標語の応募があった。また、全ての応募作品を市内商業施設に展示し、市民へ向けた人権啓発も行うことができた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	人権について理解を深める研修会を、継続的に実施する必要がある。令和8年度に「熊本県人権教育研究大会」が人吉球磨地域で開催されるため、令和7年度は10市町村で地元実行委員会を組織して準備を行う(事務局は錦町)。令和8年度においては、大会の出席負担金などの発生が見込まれる。		
	研修会・講演会を引き続き実施する。子ども人権作品展に合わせた啓発活動を積極的に行い、人権啓発に努める。令和8年度の研究大会に向けた準備を行う。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 削減

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	1,534	千円	297	千円	297	千円	
事業費	1,534	千円	297	千円	297	千円	

総合戦略	該当なし
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(1)社会教育の充実		

事務事業名	子ども読書活動推進事業	担当課	文化課
事務事業概要	子どもが読書に親しむ機会を増やししながら、同時に読書環境の充実を図るとともに、子どもの読書活動推進啓発に努め、読書の習慣が身につく取組を実施する事業		
主な取組内容 Plan	既存	ブックスタート	既存
	既存	読書感想画コンクール	既存
			人吉市童話発表大会
			図書館まつり、こども多読者表彰等

		事務事業実績			
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	371	千円	485	千円	
事業費	371	千円	485	千円	

		事務事業評価	
成果・課題 Check	(取組成果)		
	<p>以下のとおり行事を開催することで、子どもが読書を楽しむ機会を広げ、読書環境を充実させることを推進できた。</p> <p>◇ブックスタート:保健センターでの7~8か月検診時に、絵本を通じた親子のふれあいを提供。こども図書館の利用促進も実施。</p> <p>◇図書館まつり:令和7年1月11日開催。読書感想画コンクール表彰と人形劇を実施。23園から330作品を展示。</p> <p>◇こども多読者表彰:貸出数の上位10名を表彰。最多は13歳で412冊。</p> <p>◇七夕お楽しみ会:令和6年7月7日開催。七夕飾りつけや絵本の読み聞かせ、手話講座に30名が参加。</p> <p>◇童話発表大会:令和6年9月22日開催。教育長賞を新設し、最多14名が参加。観客68名、全員に図書カードを配付。</p>		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	<p>「第4次人吉市子ども読書活動推進計画」に基づき、これらの取組に創意工夫を重ね、こども図書館を活用していただきながら、子どもが読書に親しむ機会の提供につながるような魅力あるものに充実させ、さらに、保護者へ情報発信を強化していく必要がある。</p>		
	費用対効果を十分に考慮しながら、読書習慣が身につくための行事内容をさらに魅力あるものにするために図書館職員全員で子ども読書活動推進に係る情報収集を行い、見直しを行う。併せてホームページやSNSを活用し、多くの保護者に向けてコンテンツを発信することで子ども読書活動推進を図る。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

		実施計画					
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	233	千円	233	千円	233	千円	
事業費	233	千円	233	千円	233	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	図書館の機能を充実し、読書を通じて市民の豊かな心を育みます。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
-----	-----	-------	----------------------

施策項目	(1)社会教育の充実
------	------------

事務事業名	図書館利用促進事業	担当課	文化課
事務事業概要	館内環境の整備や行事の開催、情報発信を通じ、図書館の利用促進を図る事業		
主な取組内容 Plan	新規	視聴覚室設置	既存
	既存	図書館システムリブレース	新規
			図書館だより発行
			サテライト図書館(まちなか図書館)

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		金額	千円	金額	千円
	国庫補助金	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円
	一般財源	4,441	千円	3,412	千円
	事業費	4,441	千円	3,412	千円

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	地道な図書館だよりの発刊により読書や学習を行うための「静寂空間としての本館」と「こどものため空間としてのこども図書館」が市民に認知されはじめた。また図書館だよりは、利用促進につながるような魅力的な紙面づくりに努めた結果、来館者等が増加した。 令和5年度: 来館者数25,817人、館内の貸出点数71,274点、利用人数16,580人 令和6年度: 来館者数27,260人、館内の貸出点数71,485点、利用者数17,069人と増加傾向にある。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	令和7年度予定していた図書館システムのリブレースが見送られ再リリースになったため、令和8年度予定のリブレース(5年契約)に費用計上が必要である。令和7年度に閲覧室を兼ねた視聴覚室を設置し、読書バリアフリー法等に対応できる視聴覚ライブラリーの管理運営に改善する必要がある。また、知の宝庫、新たな発見の場となるように情報発信に注力する必要がある。 サテライト図書館については、人吉復興まちづくりデザイン会議が実施した中心市街地公共空間活用実験に移動図書館とタブレット設置(県立図書館電子図書)したもののほとんど利用がなかったため、情報政策課等と協議が必要である。		
	図書館機能充実に向け、視聴覚機器等の購入や図書館システムリブレース等により利用促進を図る。 また、市が所有するすべてのSNSを活用し、行事の開催だけでなく利用者の声、図書館職員の日常等の図書館情報がより多くの市民へ届くよう情報発信をブラッシュアップさせ、図書館の認知度を上げることにより利用促進を図る。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画						
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額
		金額	千円	金額	千円	金額
	国庫補助金	13,000	千円	0	千円	0
	県補助金	0	千円	0	千円	0
	起債	0	千円	0	千円	0
	その他	0	千円	0	千円	0
	一般財源	5,424	千円	15,794	千円	16,062
	事業費	18,424	千円	15,794	千円	16,062

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	図書館の機能を充実し、読書を通じて市民の豊かな心を育みます。 デジタル技術を活用したサテライト図書館(各地に設置する図書館)の運用やデジタル市役所を実現します。(おうちで市役所、デジタルシティオフィスの展開)

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(1)社会教育の充実		

事務事業名	図書館蔵書充実事業	担当課	文化課
事務事業概要	郷土資料、文化教養資料、課題解決を支援するための資料等、幅広い分野の資料を収集・整理し、蔵書の充実を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	図書等の購入	既存
			資料収集

事業財源 Do	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
		千円	千円	千円	千円
	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他	3,500	2,500	2,500	2,500
	一般財源	1,067	2,903	2,903	2,903
	事業費	4,567	5,403	5,403	5,403

事務事業評価		
(取組成果)		
成果・課題 Check	こども図書館開館後、書架が拡大したことにより児童書、郷土資料をはじめ、特定の分野に偏ることなく幅広い分野において蔵書数が2,000冊増加した。	
	(今後の課題)	
改善内容 Action	読書離れの傾向が多くみられることから、まずは市民のニーズ、社会的動向等を注視して、より利用価値や利用頻度が高くなるとされる資料を継続して収集する必要がある。また、読書バリアフリー法による全ての国民が等しく読書を通じて文字・活字文化の恩恵を受けることができるアクセシブルな書籍(点字図書・拡大図書等)が少ない。	
	事業の方向性	資源配分
	現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

事業財源	費目	実施計画		令和10年度	
		令和8年度		令和9年度	
		予算額		予算額	
	国庫補助金	0	0	0	0
	県補助金	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0
	その他	3,000	0	0	0
	一般財源	1,983	4,983	4,983	4,983
	事業費	4,983	4,983	4,983	4,983

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	図書館の機能を充実し、読書を通じて市民の豊かな心を育みます。

2

学校教育の充実



施策の方向

家庭や地域と連携して、学校や子どもたちに対する支援体制の確立と強化を図り、あらゆる教育活動を通して児童・生徒に「確かな学力」を身につけさせるとともに、「豊かな心」と「健やかな体」を育てることによって、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた「生きる力」の育成を目指します。また、地域の風習や郷土にゆかりのある偉人の顕彰とその功績を後世に伝えるために郷土教育の構築を図ります。

また、良質で安全安心な学習環境を提供するため、長寿命化計画に基づく学校施設の改修および環境整備を含めた総合的な教育環境の充実に努めます。さらに、家庭・地域・関係機関等との連携・協働による子どもたちの学習機会や訓練などの取組を通じた防災教育、キャリア教育の充実にも取り組めます。

なお、経済的理由により修学困難な学生の学びを支え、もって有能な人材を育成するため、人吉市奨学金(貸与型・給付型)の周知に努め、制度の拡充を図ります。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
不登校児童・生徒(人数は累計数)の割合	4.16%	△	1%以内
中学3年生英語検定受験者の割合	26.6%	△	50%
人吉市奨学生採用者数(給付型)	4人	△	15人

主要な事務事業

- (1) 就学援助費・就学奨励費支給事業
- (2) 教育の情報化推進事業
- (3) 特別支援教育支援員配置事業
- (4) 子ども・子育て相談員、学校支援アドバイザー配置事業
- (5) 日本語支援(指導)事業
- (6) 学校給食事業
- (7) 学校施設整備事業
- (8) 英語教育の充実
- (9) 給付型奨学金事業

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	就学援助金・就学奨励費支援事業	担当課	学校教育課
事務事業概要	経済的な理由により就学が困難と認められる児童・生徒の保護者に対し、学用品費や学校給食費などの教育費の一部を援助する事業		
主な取組内容 Plan	既存	就学援助費・就学奨励費	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	1,967	千円	1,495
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	34,354	千円	37,851	千円	
事業費	36,321	千円	39,346	千円	

事務事業評価					
(取組成果)					
成果・課題 Check	<p>経済的な理由により就学困難な家庭の児童生徒が、安心して学習できるよう就学に必要な費用の援助を行う。</p> <p>【就学援助費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■要保護者 支給額：158,020円(R6) ← 274,720円(R5) 支給人数：7人(R6) ← 8人(R5) ■準要保護者 支給額：29,445,356円(R6) ← 30,682,758円(R5) 支給人数：398人(R6) ← 416人(R5) <p>【就学奨励費】 支給額：3,838,517円(R6) ← 3,479,369円(R5) 支給人数：100人(R6) ← 94人(R5)</p> <p>※対象児童生徒の学年によって、支給額は異なる。</p>				
	<p>(今後の課題)</p> <p>就学援助費は、前年度よりも支給額及び支給人数の減少がみられたが、これは市内小中学校の児童生徒数の減少によるものであり、児童生徒に占める就学援助費の需給割合に差異が見られない。就学奨励費については、年々増加傾向にあることから、経済的理由により就学困難な児童生徒が多くなっていることがわかる。</p> <p>また、学年費等の滞納世帯が多く、回収に苦労しているという学校からの報告も上がってきている。このため、令和7年度から新入学児童生徒の学用品費については見直しを行い、国が示す基準額まで補助額の引き上げを行っている。</p>				
改善内容 Action	<p>市の財政状況を考慮しつつ、国の就学援助補助金の上限の範囲内で保護者への支給額の増額を検討し、家計の負担を減らすことで就学困難な家庭の児童生徒が、安心して学習できるような環境整備に努める。</p> <p>また、補助制度だけでなく、困り感を持った児童生徒やその保護者に対し、問題の解決に向けた子育ての支援・相談に対しても、こども未来課などの関係部署と連携を図りながら、事業展開を図る。</p>	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	1,537	千円	1,537	千円	1,537
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	24,199	千円	24,199	千円	24,199	千円	
事業費	25,736	千円	25,736	千円	25,736	千円	

総合戦略	結婚・出産・子育ての支援
	仕事と子育ての両立
	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	中学校制服選択制の導入と学用品の見直しによる保護者の負担軽減を図ります。(ランドセルの選択制)

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	教育の情報化推進事業	担当課	学校教育課
事務事業概要	電子黒板やタブレット端末、校務用端末などを配備し、子どもたちの主体的・協働的な学びを支援し、情報モラルの育成に努め、教職員の事務の効率化と負担軽減を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	教育用コンピュータ管理費(小学校・中学校)	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	20,240	千円	74,396	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	70,039	千円	130,356	千円	
事業費	90,279	千円	204,752	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	<p>国の「GIGAスクール構想」を受け、令和5年度末時点で本市では市内小学校3年生以上と教職員に端末を導入し、電子黒板の導入についても1学級1台配備を目指し、ICT機器を効果的に活用した学校教育環境の充実に向けてきた。令和6年度は未配備であった小学校1年生と2年生の端末を552台配備し、1人1台の体制を整えることができた。令和7年度には、小学校3年生以上の端末の更新を国の交付金を活用し、県の共同調達により配備する。(2,029台)</p> <p>また、人吉市内小・中学校における円滑なICT活用のためにICT支援員2人を派遣し、授業の活性化および充実等を図り、教員等の支援を行っている。令和7年度に人吉市学校徴収金管理システムを導入し、令和8年度からの運用を目指す。</p>		
	<p>(今後の課題)</p> <p>1人1台端末をはじめとするICT機器の整備には、莫大な費用がかかるため、今後も国・県の施策や動向を注視しながら、整備計画と財源確保を逐次確認・見直ししながら事業を進めていかなければならない。また電子黒板も経年劣化による故障等が頻発しており、計画的な更新作業を実施していかなければならない。</p> <p>指導用端末は、補助対象外となるため、単費での整備が必要となる。</p> <p>学校徴収金管理システムの運用にあたり、受託事業者や事務を行う学校側との手数料等を含めた詳細な協議が必要。</p>		
改善内容 Action	指導用端末の更新 電子黒板の機器更新 学習支援(eライブラリ、ロイロノートスクール)や校務支援(スズキ校務、ミライム)の活用と充実	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	79,146	千円	79,146	千円	79,146	千円	
事業費	79,146	千円	79,146	千円	79,146	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	画一斉教育から、学びの個別化・協同化・プロジェクト化の融合へと転換します。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	特別支援教育支援員配置事業	担当課	学校教育課
事務事業概要	発達障がいや生育環境により、集団での学習等において、特別に支援が必要な児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応えるため、担任と協力しながら学習や学校生活を介助する支援員を配置する事業		
主な取組内容 Plan	新規	特別教育支援員配置事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	58,727	千円	60,622	千円	
事業費	58,727	千円	60,622	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	特別な支援を要する児童生徒が在籍する市内小中学校に合計19人の特別支援教育支援員を配置し、学校生活・学習両面での細やかな支援体制を確立することができた。 また、担任の業務負担軽減と学級経営の安定化、職場環境の改善が図られ、より充実した支援体制を確保することができた。		
	(今後の課題)		
特別な支援を要する児童生徒は増加傾向にあり、各学校からは特別支援教育支援員の増員の要望が多い。一方、求められる支援員の人材確保に大変苦慮している。併せて、人件費の財源確保の問題についても、国や県の動向や補助制度の新設要望を行っていく必要がある。			
改善内容 Action	各学校の状況に応じた支援員の配置	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	60,311	千円	60,311	千円	60,311	千円	
事業費	60,311	千円	60,311	千円	60,311	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	学校支援アドバイザー配置事業	担当課	学校教育課
事務事業概要	子育ての悩みや不安を解消するための相談事業をはじめ、いじめ・不登校等の未然防止、早期解消のために様々な支援活動を行う事業。不登校児童・生徒の自己表現の場の提供も行う		
主な取組内容 Plan	既存	学校支援アドバイザー配置事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	15,449	千円	18,014	千円	
事業費	15,449	千円	18,014	千円	

事務事業評価						
(取組成果)						
成果・課題 Check	<p>子育ての悩みや不安を解消するための相談事業を行う子ども・子育て相談員については、令和6年度からこども未来課へ移管している。現在、学校支援アドバイザーは第一中学校に1名、第二中学校に2名、教育支援センター(かがやき教室)に2名、教育委員会配置1名の合計6名とし、市内の小中学校に在籍する児童生徒のいじめ、不登校等の問題解消にそれぞれの環境において適切に対処している。特に不登校対応は増加傾向にあるため、学校支援アドバイザーの役割は、学校現場からの要請も大きく、学校運営に必要なものである。</p>					
	<p>(今後の課題)</p> <p>増加傾向にある不登校対策のため、学校支援アドバイザーの必要性はますます高まる。また、スクールカウンセラー等の専門員の人材配置も検討する必要がある。</p>					
改善内容 Action	学校または児童生徒の実情に合わせた人員配置	事業の方向性	資源配分			
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持	人員
財源	現状維持					
人員	現状維持					

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	19,455	千円	19,455	千円	19,455	千円	
事業費	19,455	千円	19,455	千円	19,455	千円	

総合戦略	結婚・出産・子育ての支援
	仕事と子育ての両立
	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	日本語支援(指導)事業	担当課	学校教育課
事務事業概要	外国人の親を持つまたは外国生活が長かったなど、外国にルーツを持つ子どもたちに対し、日本語指導員を学校に派遣し、義務教育の段階で十分な日本語支援(指導)をする事業		
主な取組内容 Plan	既存	日本語支援(指導)事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	332	千円	1,873	千円	
事業費	332	千円	1,873	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	令和6年度は、西瀬小学校における児童1名に対し、日本語支援(指導)を専門に行うスタッフが在籍するNPO法人(熊本市)に委託を行った。指導回数32回、指導時間62時間 この児童は、令和7年度には特別な日本語支援(指導)を解除し、通常の授業を行うことができる。		
	現在 令和7年度は、人吉東小学校第1学年と人吉西小学校第1学年の2人に対し、日本語支援(指導)を行っている。 今後も日本語支援(指導)が必要な児童生徒は、少なからず存在すると想定している。		
改善内容 Action	現在県央・県北では海外企業の進出等もあり、そこに日本語指導者が多く割り振られている。今後本市に対象となる児童生徒が入学した場合のスタッフ確保も必要であるため、保健センターなど関係機関からの情報収集を早めに進め、本市の教育体制の準備を行っていかねばならない。 また、対象となる児童生徒の状況により、指導回数や時間など支援の内容も変わっていくため、保護者や学校側との連絡調整が必要がある。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	1,873	千円	1,873	千円	1,873	千円	
事業費	1,873	千円	1,873	千円	1,873	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	学校給食事業	担当課	学校教育課	
事務事業概要	児童生徒の心身の健全な発育と食に関する正しい理解と判断力を養うため、栄養バランスのとれた給食を提供する。また、学校給食費の公会計化により学校給食費の管理と徴収を行う事業。			
主な取組内容 Plan	既存	学校給食調理・配送	新規	学校給食費管理・徴収
	既存	学校給食費補助	新規	学校給食費滞納整理

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	9,984	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	49,400	千円	24,800	千円	
その他	99,313	千円	103,775	千円	
一般財源	163,965	千円	165,043	千円	
事業費	322,662	千円	293,618	千円	

事務事業評価					
(取組成果)					
成果・課題 Check	徹底した衛生管理のもと、大きな事故等もなく、給食調理・配送業務を遂行することができた。食材の物価高騰により、学校給食費の値上げを行い、児童生徒に必要な栄養バランスと質を落とすことなく、安心安全で安定した美味しい給食を提供することができた。学校給食費の一部助成と、値上げによる増額分は市が負担したことで、保護者の負担軽減が図られた。学校給食費の公会計化に伴い、給食管理システムを導入し、原則口座振替としたことで、教職員の業務負担軽減と保護者の利便性向上につながった。				
	(今後の課題)				
今後も食材の物価高騰が続くと予想されることから、更なる学校給食費の値上げが必要になると思われる。保護者の負担軽減を図るためにも学校給食費の無償化を検討する必要がある。給食センターは供用開始から23年が経過し、厨房機器や調理設備を含めた施設全体の老朽化が進んでおり、抜本的な改修、入れ替えの時期を迎えている状況である。それらを計画的に実施し、適切な維持管理を行っていく必要がある。					
改善内容 Action	<ul style="list-style-type: none"> 学校給食費無償化の検討。 「学校給食センター個別施設計画」における厨房機器類の更新や施設の修繕、工事計画を見直し、多大な費用を要する場合は、複数年度に分けて実施するなど、毎年の予算の平準化を図る。 	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	拡大
財源	拡大				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	76,450	千円	76,450	千円	76,450	千円	
起債	36,400	千円	0	千円	0	千円	
その他	26,500	千円	26,500	千円	26,500	千円	
一般財源	169,601	千円	236,024	千円	239,831	千円	
事業費	308,951	千円	338,974	千円	342,781	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	<p>国からの支援により、小中学校の給食費の全額補助を実現します。※現在、政府が実現に向け検討中。</p> <p>有機作物を用いた給食の提供を推進します。(地元産材の積極的活用)</p>

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	学校施設整備事業	担当課	学校教育課	
事務事業概要	児童・生徒の安全で安心な教育環境確保のため、学校施設の質的改善等を図る事業			
主な取組内容 Plan	既存	学校施設整備保全(修繕・委託)	既存	学校施設大規模改修(工事)
	既存	学校施設トイレ洋式化	既存	学校施設証明LED化

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	1,500	千円	
一般財源	206,575	千円	265,158	千円	
事業費	206,575	千円	266,658	千円	

事務事業評価					
(取組成果)					
成果・課題 Check	児童・生徒の教育環境を確保するため、消防設備や空調機器の点検を実施し、不具合箇所の修繕を行った。また、害虫駆除や樹木の剪定・伐採等を行い、安全に学校生活を送れるように努めた。 更新時期を迎えていた高圧受電設備について、改修工事を行った。 避難所として使用することもある体育館については、和式トイレを洋式化し、利便性の向上を図った。経年劣化によりさび・破損が見られる体育館の屋根について、改修工事に向けて設計業務委託を行った。				
	(今後の課題)				
市内の学校施設は、昭和40年代後半から昭和50年代に建設されたものが多く、不具合を抱えている状況である。今後、施設整備にかかる費用は膨らんでいくが、令和6年度は学校施設劣化状況調査を実施することから、施設の状況に応じた対応を検討していく必要がある。 人口減少や少子高齢化による需要の変化に対応するため、長期的な観点から学校施設の更新・統合・統合・長寿命化を行い、財政負担の軽減・平準化、最適な配置を実現する必要がある。					
改善内容 Action	・大規模改修を実施する施設の選定	事業の方向性	資源配分		
		拡大	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	財源	拡大
財源	拡大				
人員	拡大				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	28,500	千円	100,000
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	1,500	千円	1,500	千円	1,500	千円	
一般財源	101,388	千円	72,888	千円	293,388	千円	
事業費	102,888	千円	102,888	千円	394,888	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	学校の再編等の検討開始と学校施設整備計画の検討を進めます。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	英語教育の充実	担当課	学校教育課
事務事業概要	「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進として確かな学力の育成を図るため、英語教育の充実に資する事業		
主な取組内容 Plan	既存	英語教育の充実	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	102	千円	252	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	13,675	千円	13,893	千円	
事業費	13,777	千円	14,145	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	本市の英語教育の充実を図ることを目的とした英語教育アドバイザーの配置を行い、児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成等や教員の英語力及び英語指導力向上、外国語指導助手(ALT)との連携等を積極的に行ってきた。 また、中学校英語検定チャレンジ事業補助金を活用し、英検という外部検定試験を活用し、英語力の底上げを実施してきた。 令和5年度における市内中学校3年生の受験者の割合 42.1% 令和6年度における市内中学校3年生の受験者の割合 26.6%		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	英語が「好き」「分かる」児童生徒の育成に向け、言語活動を通じた指導の充実及び基礎的・基本的事項の確実な習得を図る授業改善の推進等が目標としてあげられる。		
改善内容 Action	中学校英語検定チャレンジ事業補助金を英語教育の充実の一つのツールとして利用していただくため、学校長、担当教諭、そして生徒に積極的に制度活用の周知を図る。 人吉市立教育研究所の専門部会に「英語教育部会」を設置しており、月に1回程度部会を開始し、年度当初に定めたテーマに基づき、研究や授業実践を進めている。 令和6年度英語教育部会研究テーマ 「小学校から中学校までの学びの系統性を意識した英語授業の工夫～目標設定と評価を生かした授業づくり～」	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
	県補助金	217	千円	217	千円	217	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	14,240	千円	14,240	千円	14,240	千円
	事業費	14,457	千円	14,457	千円	14,457	千円

総合戦略	未来を担う人材の確保・育成 子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	英語教育を充実し、子どもの可能性と感性を育みます。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(2)学校教育の充実		

事務事業名	給付型奨学金事業	担当課	学校教育課
事務事業概要	向学心に富み、能力があるにもかかわらず経済的理由により就学困難なものに対して、その能力に応じた教育を受ける機会を与え、もって有用な人材を育成することを目的とし、入学時祝金として「給付型奨学金」を支給する事業。		
主な取組内容 Plan	既存	制度の新設・拡充	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	80	千円	116	千円	
事業費	80	千円	116	千円	

事務事業評価					
成果・課題 Check	(取組成果)				
	令和3年度に、返還不要な奨学金である「給付型奨学金」を新設した。令和5年度採用(令和6年度入学後に給付)から条例・規則の改正を行い、他の給付型奨学金との併給制限を撤廃し、支給金額を増額するなど、利用しやすい制度への見直しを行った。				
改善内容 Action	(今後の課題)				
	令和5年度採用(令和6年度入学後に給付)については、条例・規則改正後の募集となったため、周知の時間を十分にとることができなかったが、例年並みの応募があった。今後も奨学金の安定運営に努め、必要としている生徒に情報が届くよう、周知の時期や方法を検討する必要がある。				
改善内容 Action	令和6年度採用(令和7年度入学後に給付)から、各学校への周知時期を早め、ホームページや広報に掲載し、広く制度を周知した。	事業の方向性	資源配分		
		現状維持	<table border="1"> <tr> <td>財源</td> <td>現状維持</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	財源	現状維持
財源	現状維持				
人員	現状維持				

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	120	千円	120	千円	120	千円	
事業費	120	千円	120	千円	120	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備
市長マニフェスト	修学困難な生徒の学びを支援するための給付型奨学金制度の拡充を図ります。

3

市民芸術・文化の振興と継承



施策の方向

地域に根差した文化活動や、人吉文化協会など各種文化団体に対する支援や市民参加型の各種芸術文化事業を通じ、市民力となる人吉文化の創造・継承を目指します。

市施設の集約や適正配置は重要な課題となっていますが、地域のコミュニティの核となるカルチャーパレスを有効活用することが望まれていることから、今後も文化芸術振興の拠点として再構築を図り、各種芸術・文化団体による自主活動や文化事業、市民芸術・文化鑑賞や発表会など、市民の利用機会の創出を目指します。

また、カルチャーパレスのあり方についても、人口推移や費用対効果の検証、利用者の意見も伺いながら慎重かつ総合的に検討していきます。

成果指標 (KPI)

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
犬童球溪顕彰音楽祭 (出場者数)	1, 858人	○	2,600人
人吉球磨総合美展 (来場者数)	1, 064人	△	1,800人

主要な事務事業

- (1)犬童球溪顕彰音楽祭事業
- (2)人吉球磨総合美展
- (3)カルチャーパレス改修事業

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(3)市民芸術・文化の振興と継承		

事務事業名	犬童球溪顕彰音楽祭事業	担当課	文化課
事務事業概要	犬童球溪の偉業を顕彰し音楽による地域文化の振興・普及を目指す事業		
主な取組内容 Plan	既存	碑前祭	既存
	既存	個人コンクール	既存
			学校発表会
			音楽のひろば

事業財源 Do	費目	令和6年度		令和7年度		
		決算額		予算額		
		千円	千円	千円	千円	
国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
起債	0	千円	0	千円	0	千円
その他	2,700	千円	0	千円	0	千円
一般財源	1,368	千円	5,387	千円	5,387	千円
事業費	4,068	千円	5,387	千円	5,387	千円

評価

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨の影響で規模縮小での開催が続いていたが、令和6年度は5年ぶりにすべての行事を開催できた。		
	◇個人コンクール 令和2年度から令和5年度まで中止 令和6年度112人 ◇碑前祭 令和3年度 約20人、令和4年度 1校 85人、令和5年度 2校 169人、令和6年度 4校 243人 ◇学校発表会 令和2年度から令和4年度まで中止 令和5年度28校 1,508人 令和6年度 27校 1,396人 ◇音楽のひろば 令和2年度から令和5年度まで中止 令和6年度 7団体 107人		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	カルチャーパレス大ホールが吊り天井耐震問題で使用できなくなり、会場がカルチャーパレス小ホールやスポーツパレス大アリーナへの変更を余儀なくされている。特に学校発表会の会場であるスポーツパレス大アリーナは音響や舞台設備が不十分で、準備に多大なマンパワーが必要となっている。		
	事業の方向性	資源配分	
	現状維持	財源	現状維持
		人員	現状維持

改善

方向性

事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度		
		予算額		予算額		予算額		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
起債	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
その他	1,620	千円	0	千円	0	千円	0	千円
一般財源	3,983	千円	5,603	千円	5,603	千円	5,603	千円
事業費	5,603	千円	5,603	千円	5,603	千円	5,603	千円

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(3)市民芸術・文化の振興と継承		

事務事業名	人吉球磨総合美展	担当課	文化課
事務事業概要	芸術文化に触れ合う機会を設け市民の文化意識を高める事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉球磨総合美展	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	2,300	千円	0	千円	
一般財源	1,119	千円	4,448	千円	
事業費	3,419	千円	4,448	千円	

事務事業評価						
(取組成果)						
成果・課題 Check	年度	出品者数	出品数	入場者数	場所	
	令和3年度	スポーツパレス大アリーナ改修に伴い中止				
	令和4年度	116人	116点	1,378人	石野公園	
	令和5年度	94人	94点	1,613人	石野公園	
	令和6年度	111人	160点	1,064人	スポーツパレス大アリーナ	
(今後の課題)						
新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨の影響で中止や規模縮小での開催を経て、令和6年度は5年ぶりに以前と同じ日程・会場での開催だった。令和7年度に70回の節目を迎える歴史ある地元根付いた美術展ではあるものの、出品者の高齢化が進んでおり出品者数、出品数ともに伸び悩んでいる。また、元の会場に戻ったものの来場者数が減少した。						
改善内容 Action	引き続き美術協会等との連携のもと、運営体制の検討や出品者を増やすための取り組みなどを検討する必要がある。			事業の方向性	資源配分	
				現状維持	財源	現状維持
					人員	現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	1,350	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	3,368	千円	4,718	千円	4,718	千円	
事業費	4,718	千円	4,718	千円	4,718	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(3)市民芸術・文化の振興と継承		

事務事業名	カルチャーパレス改修事業	担当課	文化課
事務事業概要	老朽化した施設を改修し、文化事業を中心とした施設として再生する事業		
主な取組内容 Plan	新規	人吉市カルチャーパレス大ホール改修調査及び改修方針検討業務委託	新規
			小ホール舞台開き足製作委託

		事務事業実績			
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	7,100	千円	4,686	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	4,087	千円	624	千円	
事業費	11,187	千円	5,310	千円	

評価

		事務事業評価		
		(取組成果)		
成果・課題 Check	令和6年度に図書館エアコン改修工事を1基、直流電源装置改修工事を行った。これにより、図書館の不調であった2基のエアコン改修は完了した。また、大ホール改修調査及び改修方針検討業務委託を実施し年度内に完了しなかったため令和7年度に繰越した。			
	令和7年度は令和6年度に引き続き大ホール改修調査及び改修方針検討業務委託を実施し、大ホールの方向性を検討する。また、小ホールの舞台の狭さを解消するため、舞台張り出しに必要な開き足の作製を委託した。また、低濃度PCBの処分に伴う詳細設計を委託した。			
改善内容 Action	(今後の課題)			
	令和6年度に引き続き実施している大ホール改修調査及び改修方針検討業務委託の結果に基づき、人吉市カルチャーパレスの今後について検討し、方向性について示す必要がある。低濃度PCBに関しては処理期限(令和8年度末)が定められているため、期限内の処分を確実に実施する必要がある。また、LED化についても実施していく必要がある。			
	・人吉市カルチャーパレスの今後を検討し方向性を示す ・低濃度PCBの処分 ・LED化の実施	事業の方向性 拡大	資源配分 財源 拡大 人員 現状維持	

改善

方向性

		実施計画					
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	100,000	千円	123,963	千円	232,404	千円	
事業費	100,000	千円	123,963	千円	232,404	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

4

歴史文化遺産の保存と活用



施策の方向

本市に現存する数多くの文化財を適切に保存・管理することで次世代へ継承し、その価値を魅力ある地域資源として地域振興への活用を図ります。

その一つとして、旧市庁舎の跡地の利活用を含めた人吉城跡の新たな保存整備を進めていくことになります。特に、人吉城跡のガイダンス施設である人吉城歴史館は、豪雨災害により甚大な被害を受けましたが、市民や来訪者の歴史学習の拠点として復旧し、学校や地域の連携のもと、郷土の歴史学習支援および魅力発信拠点として、その機能を更に充実していきます。

肥薩線については、熊本県・宮崎県・鹿児島県の3県にわたる16市町村で組織する肥薩線利用促進・魅力発信協議会において、吉松駅～隼人駅間の利用促進や魅力を発信するとともに、明治時代の鉄道の姿を現代に残す肥薩線の歴史的・文化的価値を多くの人に伝えるべく、人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868などの関連施設等において、関係団体の協力のもと情報発信を継続して行っています。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
人吉鉄道ミュージアムMOZOCAステーション868年間入館者数	60,233人	○	70,000人
人吉城歴史館年間来館者数	休館	—	16,500人

主要な事務事業

- (1) 指定文化財保存管理活用事業
- (2) 史跡人吉城跡保存整備事業
- (3) 史跡大村横穴群保存修理事業
- (4) 人吉城歴史館復旧事業
- (5) 市民学習と文化財情報発信の拠点事業
- (6) 肥薩線利用促進・魅力発信協議会推進事業

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	指定文化財保存管理活用事業	担当課	文化課
事務事業概要	市内の指定文化財を管理・活用するため、必要な業務を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市文化財保護条例	既存
	既存	人吉市文化財保存整備補助金交付要項	

		事務事業実績			
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	5,252	千円	8,740	千円	
事業費	5,252	千円	8,740	千円	

		事務事業評価	
成果・課題 Check	(取組成果)		
	<p>令和2年7月豪雨災害を契機とした文化財の災害復旧事業を主として実施した。 ◇令和6年度における新規指定・新規国登録文化財の数 国選択1件：R7年3月28日付けで「九州地方のきじ馬・きじ車製作技術」が記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択された ◇文化財保全のための事業数 令和6年度：6件※以下()分は単費補助と重複のためカウントしない 補助・自主事業：球磨神楽保存修理、大村横穴群古墳祭り、青井阿蘇神社防災施設工事、井口薬師坐像保存修理 復興基金：新温泉災害復旧基礎設計、八坂神社災害復旧、(井口薬師坐像保存修理)</p>		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	<p>令和2年7月豪雨災害や新型コロナウイルス感染症の影響により、コミュニティの解体や地域行事・年中行事等の中止が増加し、文化財の管理活用や継承のための組織や担い手不足の問題が加速化している。指定・登録に伴う助成支援に加えて、これら文化財保全継承のための担い手の確保や組織整備、記録調査等についても対策が必要。 文化財の保存整備に加え、広域と連携した多面的な視点での公開活用、日本遺産等を視野に入れた観光活用といった事業展開を行う必要がある。</p>		
	管理面での人材確保や資金工面についても、各所有者が長期的な対策をとれるように具体的な見通しや手法のありかを含めて助言を行う。 保存管理のための資金調達につながるような公開活用のあり方について情報を発信する。担い手育成のための講座や事業について注力する。 観光部局とも連携し、多角的な視点での効果的な整備活用のあり方を検討する。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

		実施計画					
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	8,899	千円	7,916	千円	4,156	千円	
事業費	8,899	千円	7,916	千円	4,156	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	史跡人吉城跡保存整備事業	担当課	文化課
事務事業概要	人吉城跡を管理し、活用するために必要な整備を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	保存整備事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	119,634	千円	22,405
県補助金	11,963	千円	2,240	千円	
起債	0	千円	17,600	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	107,671	千円	2,566	千円	
事業費	239,268	千円	44,811	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	史跡人吉城跡の保存整備事業として、史跡のガイダンス施設「人吉城歴史館」の展示設備工事を実施した。また、史跡内に所在する石垣の中で変状が確認される御館跡西側石垣について、令和4年度に図化測量等を行い、令和5年度から石垣修理工事に着手している。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	史跡の適切かつ安全な保存活用を図るため、保存管理計画や整備基本計画に基づき、修理等が必要と判断される石垣や斜面、史跡内環境整備等を、計画的に実施する。特に、史跡の本質的価値を有する石垣は、経年による変状が確認され、石垣の現況を把握するための基礎資料となる史跡内全ての石垣の総合調査報告(通称石垣カルテ)を作成が必要である。また、策定からおよそ10年が経過した保存管理計画や令和2年7月豪雨前年度に策定した整備基本計画の見直しが課題となっている。		
	史跡の安全な保存活用を図るため、御館跡西側石垣修理工事に着手し、令和7年度に完了した。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	4,249	千円	7,365	千円	23,234
県補助金	0	千円	736	千円	2,323	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	4,277	千円	6,630	千円	20,912	千円	
事業費	8,526	千円	14,731	千円	46,469	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	史跡大村横穴群保存修理事業	担当課	文化課
事務事業概要	大村横穴群の管理活用を図るために壁面の保存修理等を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	保存修理工事	既存 各種講座
	既存	人吉市指定文化財等保存活用専門会議大村横群部会	既存 県下装飾古墳一斉公開に伴う現地説明会

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	5,563	千円	2,370
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	2,500	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	32	千円	2,370	千円	
事業費	8,095	千円	4,740	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	令和元年7月の大雨及び令和2年7月豪雨に伴う崖面の安定対策を達成したのち、R6年度ではそれぞれの崖面直下において、築堤盛土の設置及び展望設備を復旧した。これにより、R元年度及びR2年度の災害復旧事業は完遂した。これにより、地域の「大村古墳祭り」の安全な開催に寄与することができた。また、発災後から休止していた大村横穴群の現地説明会を復活する等、史跡の安全な公開活用を再開することができた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	今後も引き続き災害に伴う復旧事業に取り組みつつ、西群Ⅱ工区や東群未整備箇所及びその他、本質的価値を有する未整備エリアの整備に継続的に取り組んでいく必要がある。事業の継続に際し、事業費をどのように工面するかの検討。確実な来訪者の増加に向け、どのような整備方針や公開活用の展開をはかるか、入念な計画が必要。		
	長期的な事業費の確保に向けて、財政部局と事業内容の共有や費用確保の手段について連絡を密にする。『史跡大村横穴群整備活用計画書』を策定し、今後の整備の手法や公開活用に関する方針について、対象地を計画的・一体的に整備する方針やゾーニングの整理を行う。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	1,190	千円	12,500	千円	14,500
県補助金	0	千円	1,250	千円	1,450	千円	
起債	0	千円	11,200	千円	13,000	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	1,191	千円	50	千円	50	千円	
事業費	2,381	千円	25,000	千円	29,000	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	人吉城歴史館復旧事業	担当課	文化課
事務事業概要	豪雨災害により被災した人吉城歴史館を復旧し、人吉城のガイダンス機能と全国的にも例がない相良清兵衛屋敷跡地下遺構を併せて、麓・老神地区周遊の拠点としての活用を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	災害復旧	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	43,502	千円	0
県補助金	3,107	千円	0	千円	
起債	84,000	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	308	千円	19,340	千円	
事業費	130,917	千円	19,340	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	令和2年7月豪雨により被災した史跡人吉城跡のガイダンス施設「人吉城歴史館」を復旧し、活用を行う。施設の災害復旧については、令和4年度以降、有識者等による検討を踏まえて復旧方針を検討し、令和5年度に災害復旧に伴う建築・設備の実施設計業務、令和6年度に施設の建築、機械設備、電気設備工事を実施した。(令和7年7月11日落成、以降開館)		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	開館後は、入館者を分析し、施設での人吉城跡の魅力やその伝え方について施設検討・検証が必要となる。また、効率的な運営を検討し、将来的には独立運営できるよう、関係団体または民間事業者等による指定管理への移行も検討する必要がある。		
	歴史学習の拠点となるよう、地域住民に施設の展示内容や企画に関心を抱かせる施設の運営を行い、それをサポートするボランティア等の募集や育成を行っていく必要がある。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 拡大

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	20,016	千円	19,985	千円	19,985	千円	
事業費	20,016	千円	19,985	千円	19,985	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	市民学習と文化財情報発信の拠点事業	担当課	文化課	
事務事業概要	「歴史館カレッジ(常設・企画展示を含む)」等の開催を通じて、人吉城歴史館を市民の歴史学習の拠点として利用してもらう事業			
主な取組内容 Plan	既存	各種講座・講演の実施	新規	歴史イベントの開催
	既存	『ひとよし歴史研究』の刊行	新規	『人吉物語』の刊行に向けた調査・発行

事業財源 Do	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
		千円	千円	千円	千円
国庫補助金	0	千円	0	千円	
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	10	千円	869	千円	
事業費	10	千円	869	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	<p>歴史学習支援の一環として、出前講座など、各種の講座及び講演を実施した。また歴史文化の情報発信の一環として、郷土の歴史に関する各種調査成果をまとめた『ひとよし歴史研究』を発刊、販売している。</p> <p>◇出前講座、講演等の実施数 令和6年度: 18件</p> <p>◇『ひとよし歴史研究』は隔年で刊行することが決定し、執筆のための十分な調査研究の時間を確保し、より充実した内容とすることで整理した。</p> <p>◇学習支援の拠点となる「人吉城歴史館」を再開することができた。</p>		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	<p>●人吉城歴史館の復旧に伴い、特にアウトリーチプログラム※1の充実を図る必要がある。</p> <p>●文化財や歴史文化情報を活かした教育を行うことでシビックプライド※2を醸成する必要がある。</p> <p>●拠点となる人吉城歴史館の復旧に注力し完遂したため、今後は『人吉物語』の刊行等も含めた歴史学習の発信業務の強化に取り組む必要がある。</p> <p>※1 アウトリーチプログラム 劇場や美術館などが館外で行う活動。自ら劇場などに向かない人に対し関心を持たせることを目的としてイベントなどを行うこと。それらイベント内容の総称。</p> <p>※2 シビックプライド 「地域への誇りと愛着」を表す言葉。「郷土愛」と似ているが、自分自身が地域の構成員であると自覚し、まちを良い場所にしていこうとする「意思」が含まれる。</p>		
	事業の方向性	資源配分	
	拡大	財源	現状維持
		人員	拡大

事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	2,002	千円	2,002	千円	2,002	千円	
事業費	2,002	千円	2,002	千円	2,002	千円	

総合戦略	魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	地域の風習やいい伝えをまとめた「人吉物語」の作成と人吉市郷土教育の構築を図ります。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(4)歴史文化遺産の保存と活用		

事務事業名	肥薩線利用促進・魅力発信協議会推進事業	担当課	交通政策課
事務事業概要	県境を越えた沿線市町村で連携し、肥薩線の利用促進およびその魅力を発信することにより、地域振興および活性化を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	肥薩線利用促進・魅力発信協議会	

事業財源 Do	費目	令和6年度		令和7年度	
		決算額		予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	30	千円	30	千円	
事業費	30	千円	30	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	肥薩線沿線の清掃活動や大畑駅さくらまつりなど各種イベントを実施。人吉市においては、MOZOCAステーション横駐車場にSL人吉が里帰りのことから、SL人吉のヘッドマークの展示や輸送に関する写真展を開催し、鉄道の魅力発信に努めた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	川線についてはJR肥薩線復興アクションプランに基づき、進捗管理組織を立ち上げ2033年度復旧に向けて各種施策に取り組む必要がある。また、山線についても今後復旧に向けての会議体を新たに組織する必要があるが、既存協議会が複数あるなか更に新規組織が立ち上がることとなり、現在の人員で対応できるかが課題。		
	・人員補充による体制強化	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 拡大

事業財源	費目	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		予算額		予算額		予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	30	千円	30	千円	30	千円	
事業費	30	千円	30	千円	30	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人吉球磨、沿線自治体一体となったくま川鉄道とJR肥薩線の復活を目指します。

5

スポーツの振興



施策の方向

子どもから大人、高齢者や障がいのある人など、市民の誰もが生涯にわたり主体的にスポーツ活動ができるよう、ソフト・ハード両面における環境づくりを推進します。

誰もが気軽にスポーツに親しみ、そして、楽しむことができるよう、若年期から高齢期までのライフステージに応じたスポーツ活動の推進、スポーツの楽しさや感動を分かち合い、互いに支え合いながら、市民の健康で活力ある生活と地域住民の交流や地域の絆づくり、活性化を実現できるよう推進します。また、eスポーツの普及やeスポーツを活用した地域経済の活性化を通じて、スポーツに対する新たな魅力を提供する機会の創出を図ります。ハード面の整備においては、施設の利活用や再建を含め、市民の意見を取り入れながら、具現化に向けて取り組んでいきます。

子どもたちの生涯に関わるスポーツや運動への関わり方や考え方に大きな影響を与えている中学校の運動部活動については、関係機関と連携し、地域移行を支援します。

また、スポーツ関係団体の組織強化や指導者の育成確保、競技人口の増加を図るため、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、各種クラブチーム等地域スポーツ団体の活動を支援します。

成果指標（KPI）

成果指標	実績値 (令和6年度)	達成状況	目標値 (令和9年度)
スポーツ施設の年間利用者数	186,652人	○	190,000人
学校体育施設の年間利用団体数	2,752団体	◎	2,400団体
モリスポ（人吉市小学校社会体育）の年間加入率	18.30%	○	20%

主要な事務事業

- (1) スポーツ交流イベント事業
- (2) スポーツ施設の管理運営・整備改修事業
- (3) 地域スポーツ団体等支援事業
- (4) モリスポ（人吉市小学校社会体育）推進事業
- (5) 中学校運動部活動の地域移行事業

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	スポーツ交流イベント事業	担当課	社会教育課	
事務事業概要	世代・地域間の交流や健康づくり、地域活性化等に貢献するスポーツイベントの開催、また、民間によるスポーツイベント実施に対する助言やノウハウ提供等の支援を行う事業			
主な取組内容 Plan	既存	市民早起きソフトボール大会	既存	人吉駅伝大会
	既存	ひとよし温泉マラソン	新規	人吉市スポーツ大会等誘致補助金

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	3,200	千円	
一般財源	6,087	千円	6,684	千円	
事業費	6,087	千円	9,884	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	令和6年度においては、市民早起きソフトボール大会、人吉駅伝大会を開催したに加え、5年ぶりの実走大会となるひとよし温泉マラソン大会を復活開催し、コロナ禍、令和2年7月豪雨災害前に実施していた全てのイベントを行うことができた。令和6年度に創設したスポーツ大会等誘致補助金については、2つの団体に交付することでスポーツ振興と地域経済の活性化に資する取組を実施することができた。		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	ひとよし温泉マラソン大会については、市民マラソンへのランナーの意識の変化などもあり、予定していた定員数を大幅に下回る結果となり、参加賞・温泉券・おもてなしなどの提供が実現できなかったことから、参加者から多くのご批判の声をいただく結果となった。令和7年度の大会は参加賞・温泉券・おもてなしの復活などを掲げ、数多ある市民マラソン大会から本大会をランナーが選んでいただけるよう準備を進めて行く必要がある。		
	大会を主催して、スポーツを軸としたイベントによる交流を図っていくことは今後益々困難になっていくことが予想されることから、スポーツ大会等誘致補助金の周知を積極的に行うことで、多くのスポーツ大会を誘致し、本市のスポーツ振興と地域経済の活性化を同時に実現していく。	事業の方向性 拡大	資源配分 財源 拡大 人員 拡大

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	4,000	千円	4,000	千円	4,000	千円	
一般財源	4,530	千円	4,530	千円	4,530	千円	
事業費	8,530	千円	8,530	千円	8,530	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	人が集う、人が交わる、誰もが楽しめる年間を通したイベントを創出します。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	スポーツ施設の管理運営・整備改修事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	施設を安全に利用していただくため計画的な改修整備による施設の長寿命化を図り、市民のスポーツニーズを踏まえながら施設の充実に努め、施設の利用環境の向上と適切な管理運営を行う事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市体育施設指定管理委託	既存 スポーツ施設の整備修繕事業

		令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
事業財源 Do	費目				
	国庫補助金	17,380	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円
	起債	46,100	千円	24,500	千円
	その他	106	千円	104	千円
	一般財源	66,446	千円	75,264	千円
事業費	130,032	千円	99,868	千円	

		評価	
事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	本市においては、スポーツ施設の利用者の利便性を図るとともに、より一層の効果的、効率的な施設の管理運営を行うため指定管理者制度を導入しており、現在、人吉市体育協会に施設管理を委託している。 スポーツ施設の年間利用者数については、コロナ禍・令和2年7月豪雨災害の影響から低迷していたが、令和6年度においては約18万6千6百人となり、昨年度より約4千4百人減少したものの、人口減少等の要因を加味するとコロナ禍前に迫る水準に回復させることができた。 スポーツ施設の修繕・改修・整備事業については、令和6年度は、スポーツパレス小アリーナ特定天井落下防止改修工事、スポーツパレス真空遮断器改修工事、スポーツパレス大アリーナ屋根箱礎修繕外工事、スポーツパレストレーニング室空調設備改修工事等を実施することができた。		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	各スポーツ施設の状態を把握している指定管理者の人吉市体育協会と協議し、優先順位をつけて改修・整備に取り組んでいる状況ではあるものの、多くのスポーツ施設で、老朽化や経年劣化が進んでいることから、突発的な修繕等の対応を余儀なくされるケースが多く発生している。今後も計画的な改修・整備が必要である。		
	今後の改修・整備事業の継続的な実施にあたっては、財政負担の軽減を図る必要があるため、過疎対策事業債のほか、学校施設環境改善交付金等の国庫補助金やスポーツ振興くじ助成金の活用にも積極的に努めていきたい。	事業の方向性	資源配分
		現状維持	財源 現状維持 人員 現状維持

		令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
事業財源	費目						
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	66,800	千円	83,600	千円	67,000	千円
	その他	37,649	千円	26,504	千円	33,104	千円
	一般財源	41,164	千円	89,598	千円	69,717	千円
事業費	145,613	千円	199,702	千円	169,821	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	グラウンドゴルフ場やサッカー場などのスポーツ施設を整備します。

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	地域スポーツ団体等支援事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	全ての市民がスポーツに親しみ、また、競技人口の増加や競技力向上のために、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団、各種クラブチーム等、地域のスポーツ団体の活動を支援する事業		
主な取組内容 Plan	既存	人吉市体育協会補助事業	既存
	既存	総合型地域スポーツクラブ事業	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	9,567	千円	9,434	千円	
事業費	9,567	千円	9,434	千円	

事務事業評価			
成果・課題 Check	(取組成果)		
	NPO法人人吉市体育協会に補助金を支出し、県民体育祭、市民体育祭、球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会、都市対抗熊日駅伝等の事業を通じて、市民の体力向や競技力向上を図り、スポーツ振興に寄与できた。 総合型地域スポーツクラブ及びスポーツ少年団においては、事務局業務を担うことで、円滑な運営を支援した。 ※熊日都市対抗女子駅伝大会は都市対抗熊日駅伝に令和6年度から統合されたため、交付実績なし(補助金の返還あり)		
改善内容 Action	(今後の課題)		
	少子化や高齢化もあって、各競技団体の競技人口の減少、総合型地域スポーツクラブの会員数の減少、スポーツ少年団の回数・団員の減少が進んでいる。 競技者や指導者の確保につながる仕組みづくりが課題である。		
	さらなる競技人口の底辺拡大を図ることができるようジュニア世代の取り込みや休止選手の掘り起こしなど各競技種目団体やクラブなどと連携していくことに加えて、広く一般市民を対象としたスポーツ事業の周知などを通じて、スポーツの魅力を引き続き発信していく必要がある。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		0	千円	0	千円	0	千円
	国庫補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	県補助金	0	千円	0	千円	0	千円
	起債	0	千円	0	千円	0	千円
	その他	0	千円	0	千円	0	千円
	一般財源	9,546	千円	9,546	千円	9,546	千円
	事業費	9,546	千円	9,546	千円	9,546	千円

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	モリスポ(人吉市小学校社会体育)推進事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	小学4年～6年生の児童を対象に、特定の競技種目によらない、レクリエーションスポーツその他総合的な運動の機会を創出し、かつ児童の身体機能向上および健康増進を図る事業		
主な取組内容 Plan	既存	スポーツコーディネーター業務委託	既存 モリスポ推進事業

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	2,077	千円	2,104	千円	
事業費	2,077	千円	2,104	千円	

事務事業評価			
(取組成果)			
成果・課題 Check	令和6年度は、モリスポ(学校単位の社会体育活動)に対して、市内対象児童(4～6年)755人の内、138人(18.28%:目標20%)の児童の参加申込があり、モリスポ活動実績は、総計149回実施、延べ参加人数2,670人であった(令和5年度:申込児童数174人、加入率22.48%、総計144回実施、延べ参加人数3,446人)。モリスポについては、大きな事故や怪我もなく実施でき、指導者から見て参加児童の運動能力の向上が確認できており、目的である「児童の身体能力の向上及び健康増進」に寄与できたものとする。		
	(今後の課題)		
改善内容 Action	モリスポは、受益者負担の原則からスポーツコーディネーター業務以外の必要経費については、会費収入で運営しているため、持続可能な事業実施のためには会員数確保が大きな課題である。必要経費(傷害保険料や指導者謝礼等)確保のため、目標加入率を20%に設定しているものの、令和6年度については、目標を下回る結果となった。この20%の加入率を維持していくためには、子どもの運動機会の創出の重要性に関する保護者の意識を高めるための周知・広報等の取組が引き続き必要であるとする。		
	今後人吉市PTA連絡協議会の協力を得て、本活動の体験会などを引き続き実施するとともに、SNS等を通じた積極的なPR活動を行うなどの取組を実施していく必要がある。	事業の方向性 現状維持	資源配分 財源 現状維持 人員 現状維持

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	2,194	千円	2,194	千円	2,194	千円	
事業費	2,194	千円	2,194	千円	2,194	千円	

総合戦略	子どもが成長できる教育環境の整備 魅力的な生活圏の形成
市長マニフェスト	該当なし

戦略名	戦略2	教育・文化	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり
施策項目	(5)スポーツの振興		

事務事業名	中学校運動部活動の地域移行事業	担当課	社会教育課
事務事業概要	中学校の運動部活動の地域移行を推進するため、関係機関と連携し、休日の運動部活動の地域移行を支援する事業		
主な取組内容 Plan	新規	中学校部活動地域移行検討	

事務事業実績					
事業財源 Do	費目	令和6年度 決算額		令和7年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	
一般財源	55	千円	612	千円	
事業費	55	千円	612	千円	

事務事業評価									
(取組成果)									
成果・課題 Check	<p>国と県が示す中学校部活動の地域移行の方針に従い、今後のあり方や望ましい部活動の環境整備について検討するための「人吉市中学校部活動地域移行検討会」(以下「検討会」という。)を令和6年度に立ち上げ、小学生、中学生、保護者、教職員、スポーツ・文化団体向けの地域移行に関するアンケート内容の協議や今後の理想の地域移行モデルを考えるワークショップを実施するなど、3回にわたる検討会を開催し、協議いただいた。</p>								
	(今後の課題)								
	<p>今後検討会において、令和7年度末までに休日の部活動の地域移行の方針を決定していく必要があることから、地域移行についてより具体的な内容の検討を進めていくこととなる。中学校部活動の地域移行を進めるに当たっては、生徒・保護者・教職員の理解、受け皿となる団体等の整備、指導者などの人材の確保、活動場所の確保、費用の負担のあり方など、検討すべき事項は多岐にわたり、地域移行を実現させるためには、多くの課題がある。</p>								
改善内容 Action	<p>令和7年度以降の検討会においては、アンケート調査内容や委員の皆様からいただいた御意見等もとにたたき台となる方針案をお示ししながら、地域移行に向けた協議を実施し、まずは、令和8年度中の休日の部活動の地域移行に取り組み、課題等を検証したうえで、その後、国が示す令和13年度までに平日も含めた地域移行の完全実施を目指していく。</p>	事業の方向性 拡大	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">資源配分</th> </tr> <tr> <td>財源</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>人員</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	資源配分		財源	拡大	人員	拡大
資源配分									
財源	拡大								
人員	拡大								

実施計画							
事業財源	費目	令和8年度 予算額		令和9年度 予算額		令和10年度 予算額	
		国庫補助金	0	千円	0	千円	0
県補助金	0	千円	0	千円	0	千円	
起債	0	千円	0	千円	0	千円	
その他	0	千円	0	千円	0	千円	
一般財源	3,167	千円	5,795	千円	5,795	千円	
事業費	3,167	千円	5,795	千円	5,795	千円	

総合戦略	<p>子どもが成長できる教育環境の整備</p> <p>魅力的な生活圏の形成</p>
市長マニフェスト	<p>競技団体としっかりと協議を進め、中学校部活動の社会体育移行を支援します。</p>